

情報公開文書

[研究名]

集中治療領域における新規利尿薬、トルバブタンの効果の検討

[意義・目的]

近年、日本でも新規利尿薬であるトルバブタンの使用が可能となりました。本薬剤は、従来、使用されてきた利尿剤と異なり、体のむくみを取りながら、尿量を増やす効果があり、むくみを来す疾患に対する新しい治療戦略の構築が期待されています。本薬剤が日本で採用されてから当集中治療部でも積極的に使用しつつあります。今回は、このような新規利尿薬の使用状況と、本剤を取り入れたことに対する臨床効果を検討し、今後の治療に役立てたいと考えています。

[方法]

当院 ICU に入室し、トルバブタンを含む利尿剤を投与された全ての患者を対象に過去のカルテの記載を調べ、各利尿剤の使用状況を調べ、トルバブタン使用症例と非使用症例において、尿量、体重減少率、ICU 滞在期間、人工呼吸器離脱までの期間を調査し、比較します。

[研究機関名] 弘前大学医学部附属病院

[当該研究に関わる研究者名] 丹羽英智

[個人情報の利用目的] 学会発表、論文作成

[保有する個人情報の開示の求めに対する対応] 診療録から収集された個人情報であるため、診療録の開示基準に該当しない限り、応じることはできません。

[苦情の申し出先及び問い合わせ先]

弘前大学医学部附属病院 集中治療部 0172-39-5322

弘前大学附属病院病院長 0172-33-5111

弘前大学大学院医学研究科倫理委員会 0172-39-5194